

## 2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330332080	こども言語 Language for Children	福井 千夏			1	選択	3後期

## 科目の概要

領域「言葉」のねらい及び内容を踏まえ、子どもの言葉を育む保育活動を計画・実践する力を身に付けることを目的とする(DP2)。具体的には、「保育内容(言葉)」で学んだ乳幼児の言語発達に関する基礎的な知識をもとに、保育者の言葉がけを中心とした援助や関わり方を習得する(DP1・3)。さらに、言語教材である絵本の特徴を学んだうえで、自ら言語教材を作成し、子どもの発達段階に応じた指導方法を工夫・改善する力を養う(DP1・3)。

学修内容	到達目標
① 領域「言葉」のねらい及び内容と指導上の留意点と評価の考え方を理解する。 ② 言語教材である絵本の特徴を学び、ミニ絵本を作成する。 ③ ミニ絵本を活用した言葉指導の方法を考案し模擬保育を実践する。 ④ 模擬保育についての自己評価・相互評価を通し、課題を見つける。	① 領域「言葉」のねらい及び内容と指導上の留意点と評価の考え方を理解できる。 ② 言語教材である絵本の特徴を理解したうえで、ミニ絵本を作成できる。 ③ 乳幼児の言葉に関する発達過程、環境、支援についての知識をもとに、ミニ絵本を活用した指導方法を考案することができる。 ④ 模擬保育を通し、指導方法を工夫・改善することができる。

## 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

## 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	自分自身の言語活動をみつめなおし、保育者として子どもたちのモデルとなるような言葉を日常的に使う努力をする。
	働きかけ力	
	実行力	課題レポートに、主体的かつ積極的に取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	乳幼児の言葉を育むために、何をしていくべきか常に省察し、課題を見出していく姿勢を持つ。
	計画力	課題に取り組むために事前に計画を立て、早めに取り組むことができる。
	創造力	言語教材である絵本の特徴を活かしたミニ絵本を作成することができる。
チームで働く力	発信力	授業中にまわりが理解しやすいように、自分の意見を整理しながら、述べることができる。
	傾聴力	授業中は、他者の発言に集中し、自分と異なる意見を尊重することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	むやみに遅刻や無断をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。やむを得ない理由で遅刻や欠席した場合は、理由を教員に伝えること。遅刻・欠席時は、次の授業に支障をきたさぬよう、自主的に授業内容を確認し、復習課題に取り組むこと。
	ストレスコントロール力	

## テキスト及び参考文献

テキスト：中坪史典・請川滋大監修 渡邊真帆編『新・保育シリーズ13 保育内容「言葉」』学術図書出版社(2000円)  
 参考文献：平成31年度改訂『保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育保育要領・幼稚園教育要領』

## 他科目との関連、資格との関連

本科目は専門科目の幼・保領域の保育の内容・方法に関する科目であり、保育内容(言葉)や保育内容関連科目(総論、表現、言葉、人間関係、健康)と関連する科目である。  
 関連する資格・免許：保育士・幼稚園教諭一種

学修上の助言	受講生とのルール
・日常生活の中で、言葉による伝え合いを大切にしていくこと。 ・子どもたちの言葉を育む多くの児童文化財に積極的に触れるよう努力すること。	・授業中は私語を慎むとともに、討論をするときには積極的に発言すること。 ・欠席した時は、テキストや授業資料をもとに自主的に学ぶこと。 ・授業態度(参加態度や出席状況)及び発表内容、提出レポートによって評価する。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
	平常評価	小テスト	30	①	✓	授業の進行に応じ、授業内容の理解度をはかるための小テストを実施する。テキストや授業で配付されたプリント、ノートを確認しておくこと。  ・pisa型学力の評価方法について 知識の獲得(言語発達に関する用語の理解)40% 知識の活用(言語発達の特徴について書かれた文章の理解)40% 知識の解決(言語発達に関する事例の理解)20%
				②		
				③		
				④		
		レポート	30	①		ミニ絵本を使った指導案をレポート①(10点)として提出する。レポート②(20点)を15回目に作成して提出する。レポートのテーマは二つである。まず一つは、ミニ絵本の相互評価と自己評価に関するものである。友人のミニ絵本とミニ絵本を活用した模擬保育から良い点や参考になる点を見つけること。また、自分の作品と模擬保育の改善点を見つけること。もう一つは、領域「言葉」に関するテーマで、授業全体を振り返る内容となる。  ・pisa型学力の評価方法について 知識の獲得(保育指導案の作成方法の理解)40% 知識の活用(模擬保育の指導案の作成)40% 知識の解決(言語発達支援に関する提案)20%
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)	30	①		乳幼児の発達段階(安心・安全面での配慮を含む)を踏まえ、保育活動のねらいを明らかにしたうえで、絵本の特徴を活かした言語教材を作成すること。作品の発表は、模擬授業を兼ねる。対象の乳幼児にふさわしい話し方や表情を心掛けること。  ・pisa型学力の評価方法について 知識の獲得(模擬保育における留意点の理解)40% 知識の活用(模擬保育の実践)40% 知識の解決(模擬保育改善案の提示)20%		
		②	✓			
		③	✓			
		④	✓			
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	授業を振り返り、授業所感(授業に関する意見・感想)を期日までに提出することで評価する。	
			②	✓		
			③	✓		
			④			
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>レベル S(秀)の基準は、到達目標①②③④をはかるため、小テスト、レポート、成果発表、社会人基礎力の総合計が90点以上とする。</p> <p>レベルA(優)の基準は、到達目標①②③④をはかるための小テスト、レポート、成果発表、社会人基礎力の総合計が80点以上90点未満とする。</p>	<p>レベルB(良)の基準は、到達目標①②③④をはかるための、小テスト、レポート、成果発表、社会人基礎力の総合計が70点以上80点未満とする。</p> <p>レベルC(可)の基準は、到達目標①②③④をはかるための、小テスト、レポート、成果発表、社会人基礎力の総合計が60点以上70点未満とする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	保育所保育指針・幼保連携認定こども園教育保育要領・幼稚園教育要領を通して、領域「言葉」のねらい及び内容を学ぶ。さらに、他領域との関連について理解する。	講義 フィードバックレポートの作成・提出 (Google classroom)	保育所保育指針・幼保連携認定こども園教育保育要領・幼稚園教育要領に提示されている領域言葉に関する事項について理解し、概説することができる。	(予習) 保育所保育指針・幼保連携認定こども園教育保育要領・幼稚園教育要領に提示されている領域言葉について読んでおく。 (復習) 領域言葉について、概説できるようにする。	90	主体性 傾聴力
2	言葉の役割と機能 絵本の選び方	講義 フィードバックレポートの作成・提出 (Google classroom)	・言葉の役割と機能について理解できる。 ・絵本の選び方について理解できる。	(予習) テキストを読み、要点を把握しておくこと。 (復習) テキスト、プリントで学んだことやノート、レポートに記述したことを振り返ること。	90	主体性 実行力 傾聴力
3	乳幼児の言葉の発達の特徴 絵本の絵と言葉の関係	講義 フィードバックレポートの作成・提出 (Google classroom)	・乳幼児の言葉の発達の特徴について理解できる。 ・絵本の絵と言葉の関係について理解できる。	(予習) テキストを読み、要点を把握しておくこと。 (復習) テキスト、プリントで学んだことやノート、レポートに記述したことを振り返ること。	90	主体性 実行力 傾聴力
4	言葉の発達に課題を抱える子どもの支援 絵本のめくりの効果 小テスト	小テスト 講義 フィードバックレポートの作成・提出 (Google classroom)	・言葉の発達に課題を抱える子どもの支援について理解できる。 ・絵本のめくりの効果について理解できる。	(予習) 小テスト①に向けて、第2週、第3週で学んだことを振り返ること。テキストを読み、要点を把握しておくこと。 (復習) テキスト、プリントで学んだことやノート、レポートに記述したことを振り返ること。	90	主体性 実行力 傾聴力
5	言葉の発達支援における園と家庭・関係機関との連携 絵本の人物の向きと位置①めくりとの関係	講義 フィードバックレポートの作成・提出 (Google classroom)	・言葉の発達支援における園と家庭・関係機関との連携について理解できる。 ・絵本の人物の向きと位置について、絵本のめくりとの関係で理解できる。	(予習) テキストを読み、要点を把握していくこと。 (復習) テキスト、プリントで学んだことやノート、レポートに記述したことを振り返ること。	90	創造力 発信力
6	乳児の言葉の発達を支える指導法 絵本の人物の向きと位置②テーマとの関係 小テスト②	小テスト 講義 フィードバックレポートの作成・提出 (Google classroom)	・乳児の言葉の発達を支える指導法について理解できる。 ・絵本の人物の向きと位置について、絵本のテーマとの関係で理解できる。	(予習) 小テスト②に向けて、第4週、第5週で学んだことを振り返ること。テキスト5-1を読み、要点を把握しておくこと。 (復習) テキスト、プリントで学んだことやノート、レポートに記述したことを振り返ること。	90	創造力 発信力
7	幼児の言葉の発達を支える指導法 絵本の色の効果①色のイメージ	講義 フィードバックレポートの作成・提出 (Google classroom)	・幼児の言葉の発達を支える指導法について理解できる。 ・絵本の色の効果について、色のイメージと関連させて理解できる。	(予習) テキストを読み、要点を把握していくこと。 (復習) テキスト、プリントで学んだことやノート、レポートに記述したことを振り返ること。	90	課題発見力 発信力 傾聴力
8	児童文化財を活用した言葉の指導法(絵本・紙芝居・パネルシアターの実践) 小テスト③	小テスト グループディスカッション 講義 フィードバックレポートの作成・提出 (Google classroom)	・児童文化財を活用した言葉の指導法について理解できる。 ・グループディスカッションにおいて、積極的に意見交換できる。 ・色の使い方に特徴のある絵本の色の効果について理解できる。	(予習) 小テスト③に向けて、第6週、第7週で学んだことを振り返ること。テキスト7章を読み、要点を把握しておくこと。 (復習) テキスト、プリントで学んだことやノート、レポートに記述したことを振り返ること。	90	課題発見力 発信力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	ミニ絵本の作成①作成の目的と方法の理解 絵本の枠の効果	講義 フィードバックレポートの作成・提出 (Google classroom)	・ミニ絵本の作成の目的と方法について理解できる。 ・絵本の枠の効果について理解できる。	(予習) 第2週から第8週まで学んだ絵本の特徴について振り返ること。 (復習) 自分の絵本体験を振り返り、特に、面白いと思った絵本の面白さの理由について考えること。	90	実行力 課題発見力 傾聴力
10	ミニ絵本の作成②準備～ストーリーの考案・構成	創作活動 フィードバックレポートの作成・提出 (Google classroom)	・計画的にミニ絵本作りに取り組むことができる。	(予習) ミニ絵本作りの見通しを持ち、必要な材料・道具を準備すること。 (復習) ミニ絵本作りの過程を振り返り、計画の修正をはかること。	90	創造力 発信力
11	ミニ絵本の作成③絵や仕掛けの作成～完成	創作活動 フィードバックレポートの作成・提出 (Google classroom)	・計画的にミニ絵本作りに取り組み、ミニ絵本を完成させることができる。	(予習) ミニ絵本作りの見通しを持ち、必要な材料・道具を準備すること。 (復習) ミニ絵本を完成させることができなかつた場合は、自主的に作成し完成させておくこと。	90	創造力 発信力
12	ミニ絵本を活用した保育指導案の作成	講義 指導案の作成・提出	・対象乳幼児の発達段階を考慮し、ミニ絵本を活用した保育指導案を作成することができる。	(予習) テキストを読み、要点を把握しておくこと。 (復習) テキストの内容と作成した指導案を比較し、必要に応じ指導案を修正すること。	90	課題発見力 発信力 傾聴力
13	ミニ絵本を活用した模擬保育(クラス前半)と相互評価	成果発表(模擬保育) 相互評価 相互評価表の提出	・対象乳幼児の発達段階を考慮し、話し方や表情に工夫して発表(模擬保育)できる。 ・友人の発表(模擬保育)をしっかりと評価する(良いところ、参考にしたいところを見つける)ことができる。	(予習) 作成した指導案をもとに、発表(模擬保育)の練習をしておくこと。 (復習) 発表(模擬保育)を振り返り、改善点を見つけること。	90	課題発見力 発信力 傾聴力
14	ミニ絵本を活用した模擬保育(クラス後半)と相互評価	成果発表(模擬保育) 相互評価 相互評価表の提出	・対象乳幼児の発達段階を考慮し、話し方や表情に工夫して発表(模擬保育)できる。 ・友人の発表(模擬保育)をしっかりと評価する(良いところ、参考にしたいところを見つける)ことができる。	(予習) 作成した指導案をもとに、発表(模擬保育)の練習をしておくこと。 (復習) 発表(模擬保育)を振り返り、改善点を見つけること	90	課題発見力 発信力 傾聴力
15	授業のまとめと振り返りレポートの作成	振り返りレポートの作成・提出 (Google classroom)	・自分たちの発表の振り返りや15週に授業の振り返りを通して、今後の課題を明らかにする。	(予習) 15回の授業を通して学んだことを振り返っておくこと。 (復習) 作成したレポートをもとに、今後の学修目標を立てること。	90	実行力 課題発見力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力